



通信 みんなのひろば

No.8



木更津市議会議員 田中のりこ

発行: 通信 No.8 2025 年早春号
田中のりことみんなの会
TEL : 070-2172-8480(連絡・活動用)
MAIL : tanaka-noriko@live.jp



ブログ



facebook



みんなの会HP

木更津駐屯地での オスプレイ暫定配備は5年間 2025年7月9日まで オスプレイ配備の駐屯地は 佐賀空港に隣接して建設中 巨大な貯留池も建設中



絵／市原市在住 元県議会議員の山本友子さん

暫定配備は5年間。佐賀空港の建設は間に合うのかという問いに、防衛省は「オスプレイ配備のために、最低限の設備を整える」と言っていた。最低限の設備ってどんなだろうと、昨年12月23日に田中は、佐賀へ一人で行ってきた。佐賀市議会議員山下明子さんに案内してもらった。佐賀空港に隣接する建設中の新しい駐屯地。その隣に巨大な貯留池の建設現場があったのには驚いた。

佐賀空港より大きい新しい駐屯地

佐賀空港の管制塔の向こうは、広大な麦畑だった。そこに、佐賀空港より大きい駐屯地のオスプレイの倉庫や建物が建設されていた。建設中の駐屯地は、オスプレイ17機と目達原(めたばる)駐屯地から50機のヘリコプターを配備する。 **駐屯地** **佐賀空港**



空港脇に巨大な貯留池 建設理由 I

駐屯地に建物が建設中であり、手前は貯留池の建設である。

一度に雨水を海に流すと塩分濃度が落ちて海苔の生育によくないので、貯留池に貯まった雨水とポンプで汲み上げた海水を混



木更津駐屯地は、暫定配備が終わっても、米海兵隊や陸上自衛隊のオスプレイの定期整備は続く。自動車の車検は、期間が決まっている。オスプレイの定期整備は飛行時間だというのが、それ以上は防衛上、秘密。最近、ひんぱんにオスプレイの事故や予防着陸がある。安全飛行が疑問視される。日本の空にオスプレイはいらない!

合して海に流すという。



空港脇に巨大な貯留池 建設理由 II

麦畑を整地するのに、山土をダンプカーで運んでいて、砂埃がすごかったという。ところが、空港脇に貯留池を作り、掘った土を空港の敷地に使うことで、コスト削減となり、駐屯地の建設は急ピッチで進んだという。

環境アセスメントをしない

駐屯地の建設は、環境アセスメントをしないで良いギリギリの面積(30畝未満)。工事関係



者の駐車場や貯留池を合わせると環境アセスメントが必要だが、県は別事業という。

なぜ、貯留池を作ることになったのか

堤防の右向こうは海、海苔の漁場がある。現在、県に対して弁護士を置かずに裁判中であるという調べている山下市議と市民。

海苔のシーズンは冬。佐賀では冬に大量の雨は降らない。冬場の貯留池に雨水はあるのか。そもそも、畑地や空港周辺の雨水は、畑地のままのほうが自然の流下で片付くと考える。「空港そばになぜ貯留池を作ることになったのか。」「大量の雨水が海に直接排出されると、海苔に良くないという要望が漁協関係者からあった」という。しかし、その会議録を請求したらマックロケだった。

今回、現地の人しか知らないような堤防をぐるりと案内してもらい、国の事業が急ピッチで進められていることに愕然とした。



市民目線で暮らしと政治をつなぐ



広島市の平和への取組 世界へ、次世代へとつなぐ

秋に日本青年館で「清溪セミナー」があります。このセミナーの実行委員11人(田中もその一人)で、広島市の視察研修をしました。

広島平和記念資料館で副館長の解説

この資料館へは、昨年も訪れていたものの、副館長さんの解説で、改めて写真や絵をじっくり観ました。



「この写真は、カメラマンが自宅に戻り、撮りました。爆心地から2.2kmのところでは家の形は残っていますが、爆心地は3,000℃から4,000℃にもなり、逃げてきた人たちをよくみると、裸足だったり、靴底が溶けています。警察の人がやけどした人の背中に油をぬっているところです」

写真は米兵が撮ったもの→



被爆体験者八幡照子さんの証言

1945年8月6日、爆心地から2.2kmで被爆。それまでののどかな日常が一瞬にして変わり果ててしまった一つひとつの記憶を、現役高校生美術部の生徒に話し(次世代への継承)、何度も何度も書き直された絵を織り交ぜ、話されました。「通っていた国民学校が避難所になり、おでこの傷を治療してもらいに行った。校庭は火葬場になり、その向こうに小さな袋を手渡していた。お菓子がもらえるのかと思ったら、だれのかわらないお骨を配っていた」



法律に基づく平和教育と平和行政

1949年8月6日に施行し「広島平和記念都市建設法」に基づいています。

(目的)第一条 この法律は、恒久の平和を誠実に実現しようとする理想の象徴として、広島市を平和記念都市として建設することを目的とする。

(広島市長の責務)

第六条 広島市の市長は、その住民の協力及び関係諸機関の援助により、広島平和記念都市を完成することについて、**不断の活動**をしなければならない。

広島市は、平和首長会議の賛同を世界によびかけ、日本では、市町村1740団体が加盟、一団体が未加盟と知り、「米軍基地があるからか？」と複雑な気持ちになりました。



暮らしに香る本シリーズ ③
針と糸

小川糸

この本は小説と違ってエッセイなので、内容をお知らせすることはできない。一つの話を追求するのではなく、いろんな場面を描写しているのだから。でも作者は一人だから雰囲気はいつも同じ。その雰囲気が良いのです。

簡単にベルリンに移り住み何年も暮らし、コロナで犬一匹連れて帰国したり、うまくいってなかった母との関係も、プロの物書きとしてやむを得ず書いてみて、結果的に過去の自分と向き合い、受け入れ、清算することができたそうです。

「針と糸」というちょっと不思議な題名について。糸は針の力を借りることで糸としての役割を全うできる。針も又、針だけ存在していても役には立たず、その小さな穴に糸を通して、共に布と触れることで針としての役割を発揮できる、と。ひよんなことから八ヶ岳に土地を見つけ、山小屋を建てることにしたそうで、最後はどんなゴールが待っているのか自分でも分からないそうです。(宮下)

教育のひろば

教育現場の教師からのつづやき⑧
巣立ちと出会い…そして成長

2025年は、穏やかにスタートできたようですね。高校3年生は、自宅学習期間にもうすぐ入ります。毎日会っていた生徒たちに会えないのは、毎年の事ながら寂しさで一杯になります。

そして、3月になれば、もう卒業です。学校は静かになり、ポツカリ穴が空いたようになります。教師たちの思いや伝えるべき学びはちゃんと生徒たちに届ける事はできたのだろうか？新天地で、元気に自分らしく活動できるだろうか？と心配は尽きません。

今、3年生たちは大きく羽ばたく準備をしています。また、1、2年生は不安ながらも4月からの新入生との出会いも気になっています。特に1年生は「先輩」になる準備に余念がありません。これも、嬉しい事です。毎年繰り返される、この別れと出会い。その中で教師も生徒も成長しているのだと信じています。(YAPPY)



出前講座 みんなで育てるまちの公園～良好な公園環境の維持のために～

11月14日に開催した出前講座(都市整備部市街地整備課の職員が講師)に15人の参加がありました。予約していた大型モニターは、別団体が使用していて、印刷物だけの説明になりましたが、活発な質疑でした。

「当初説明会で、きみさらず聖苑から上山公園(大久保団地)を接続の話はその後どうなったのか」という質問に対しては、後日環境部から回答(右参照)をもらうことになりました。

環境部より後日、波岡区長会研修会でも説明がありました。

「令和元年9月の説明会では、地域住民が利用可能な散策を計画していましたが、整備を進めていく中で

- ・火葬場のセキュリティの確保
- ・火葬場利用者(遺族)の心情

など鑑み、日常的に往来できる環境は適切ではないという判断をしました。説明内容に変更があったこととお詫びします」

○▲□お知らせ伝言板●△■○

070-2172-8480(予約・連絡・活動用)

休耕田を増やしたくない
米作りしたい・関心がある人へ
お米をつくらうよ説明会

2月9日(日) 10:00~11:20
八幡台公民館

・初心者も大歓迎
・この日都合が悪い方には後日説明するので、Tel またはメールください。
主催:田中のりことみんなの会

みんなで楽しむ音楽会の
スタッフ募集

2月8日(土) 13:30~14:30

- ・チラシの三つ折り
 - ・前売券の袋詰め作業
- 八幡台公民館 予約不要

そのほか -----
・自分の分と数枚程度の前売券販売
・当日(いすの片づけなど)
主催:みんなの音楽会実行委員会

毎年2週間ほどで前売券完売で好評

みんなで楽しむ音楽会

3月22日(土)(開場 13:30)14:00~ 八幡台公民館
4人のクラリネット奏者が演奏

2月9日より販売 前売券 600円
・公民館では前売券を販売しません。当日券はありません。
・前売券は音楽会スタッフまたは電話予約
主催:みんなの音楽会実行委員会
協力:房総楽友協会